

**令和6年度
府中町総計【事業者】調査報告書**

令和7年2月

府中町

《目次》

第1章 調査方法	1
第2章 調査結果	3
1 貴事業所のことについておたずねします。	3
2 協働によるまちづくりについておたずねします。	8
3 府中町における事業の展開についておたずねします。	12
4 府中町全体の今後のまちづくりについておたずねします。	17

第1章 調査方法

1. 調査の目的

府中町では、平成28年度から10年間の取組を進めてきた「府中町第4次総合計画」が令和7年度で計画期間を終了し、新たなまちづくりの指針となる「府中町第5次総合計画」を策定することになります。

つきましては、府中町が進むべき方向性について、事業者のみなさまのお考えをお聞きし、計画の見直しに反映させていくため、アンケート調査を実施することとしました。

2. 実施概要

- 調査対象者 : この調査の対象者は町内の事業者の中から350社を無作為に選ばせて頂きました。
- 対象数 : 事業者 350 社
- 調査期間 : 令和6年11月21日～令和6年12月13日まで
- 調査方法 : 郵送による配布回収及びネット回答

3. 回収結果

	配布数	紙回収数	ネット回収数	総回収数	回収率
事業者	350 件	123 件	40 件	163 件	46.6%

4. 調査集計にあたっての留意事項

○回答結果は小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、単回答（複数の選択肢から1つだけを選ぶ形式）の場合、合計値が「100.0」にならない場合があります。

○複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）における割合の単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計すると「100.0」を超える場合があります。

○本報告書における「n」「SA」「MA」「FA」「数量」は、それぞれ

「n」 =サンプル数のこと

「SA」 =単回答のこと（Single Answer の略）

「MA」 =複数回答のこと（Multiple Answer の略）

「FA」 =自由回答のこと（Free Answer の略）

「数量」 =数量回答のこと

を示します。

○MAのあとの数字などは複数回答の数を表しています。（MA：3）の場合はあてはまるもの3つまでに回答した設問、（MA：ALL）の場合はあてはまるものすべてに回答した設問となります。

○図表中において「無回答」とある項目については、「回答のなかったもの」、もしくは「判別ができなかったもの」を表しています。

○本文中の設問の選択肢が長い場合は、簡略化している場合があります。

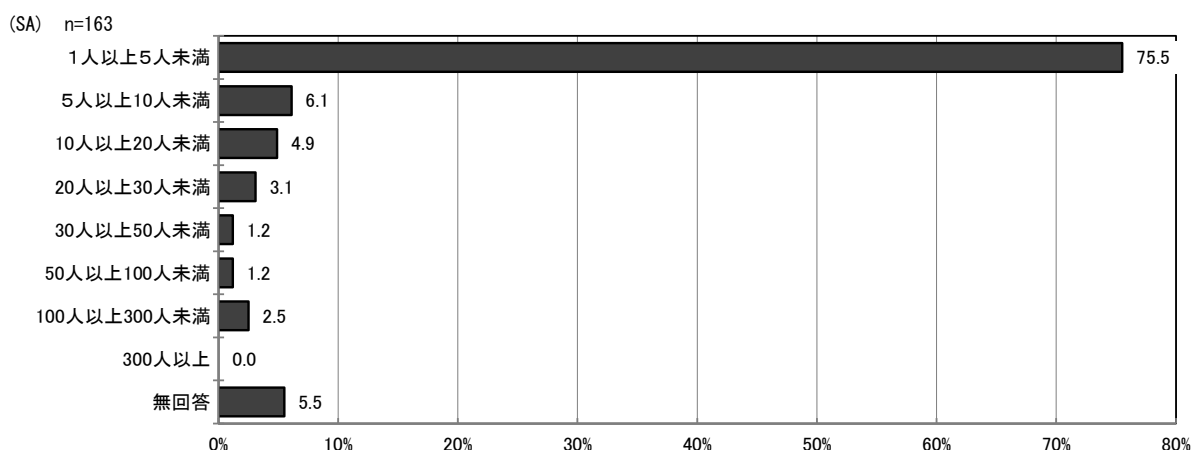
○本報告書において100%横棒グラフでの表示は、グラフ表示が煩雑になるため、比率の極めて低いもの（3.0%未満）は数値の表示を省略しているものがあります。

第2章 調査結果

1 貴事業所のことについておたずねします。

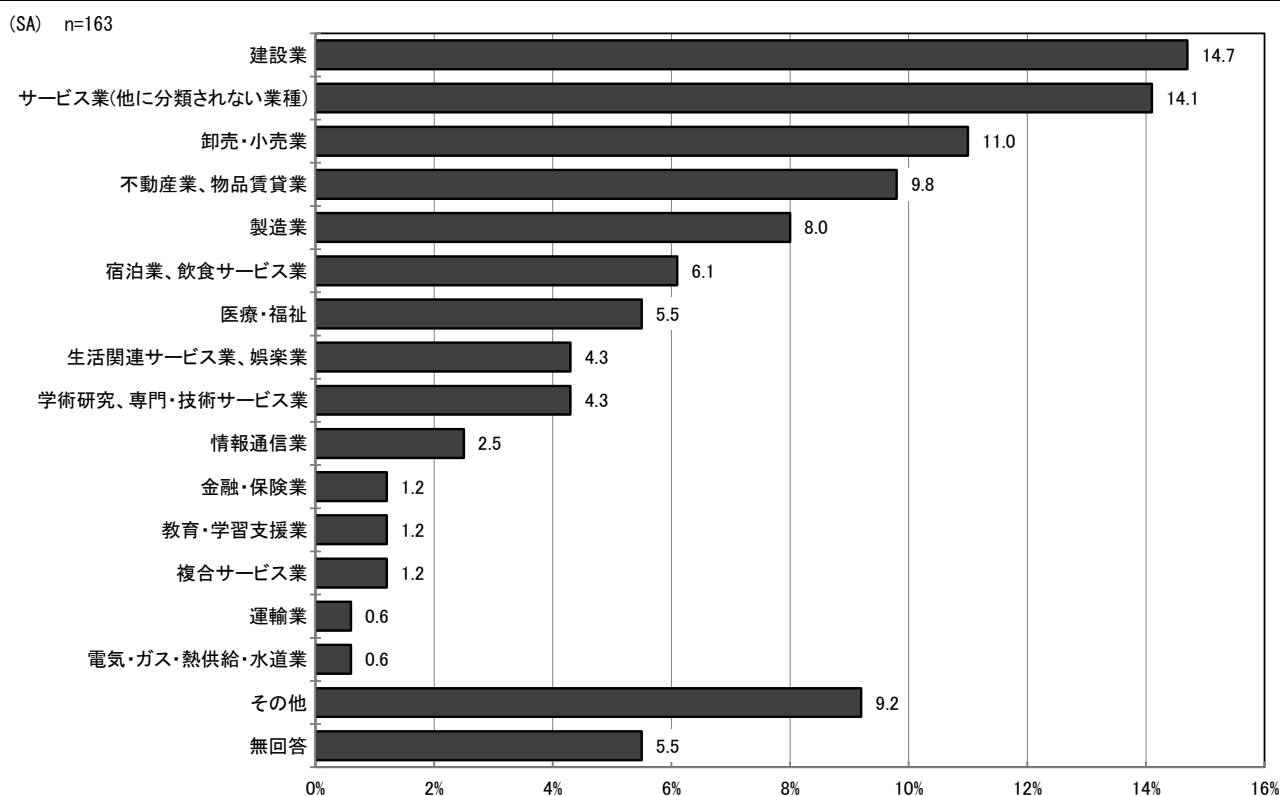
問1 非正規従業員を含んだ従業員数をおしえてください。(SA)

「1人以上5人未満」が75.5%で突出しています。次いで「5人以上10人未満」が6.1%、「10人以上20人未満」が4.9%で続いています。



問2 業種をおしえてください。(SA)

「建設業」が14.7%で最も高くなっています。次いで「サービス業(他に分類されない業種)」が14.1%、「卸売・小売業」が11.0%で続いています。

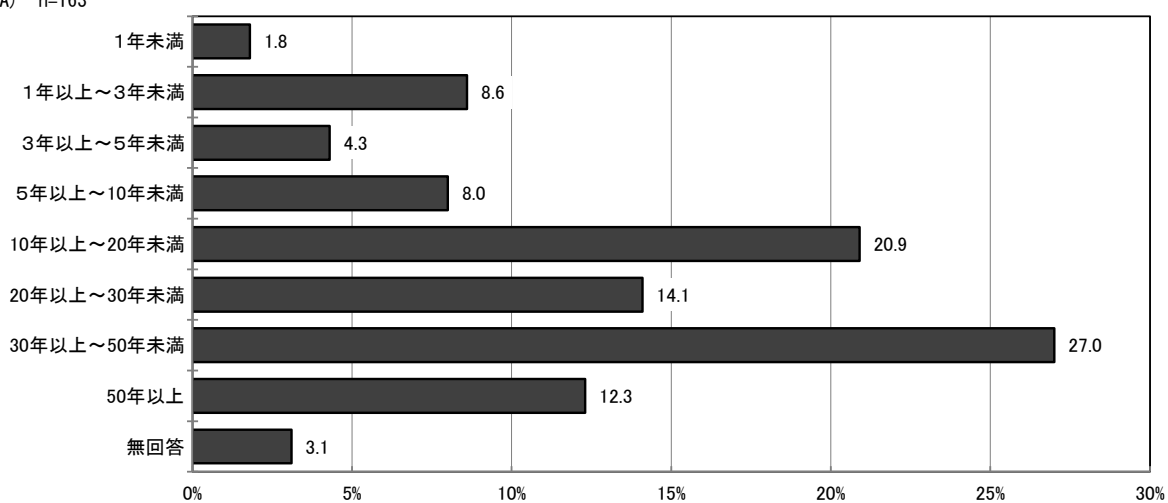


その他回答	
イベント企画	自営業
運送業	自動車板金塗装
ガレージ	製造卸
企画、デザイン、製造、販売	鉄鋼業
キャリアコンサルティング	文筆業
個人タクシー	保険調査業
産業廃棄物収集運搬	賃貸業

問3 営業年数をおしえてください。(SA)

「30年以上～50年未満」が27.0%で最も高くなっています。次いで「10年以上～20年未満」が20.9%、「20年以上～30年未満」が14.1%が続いています。

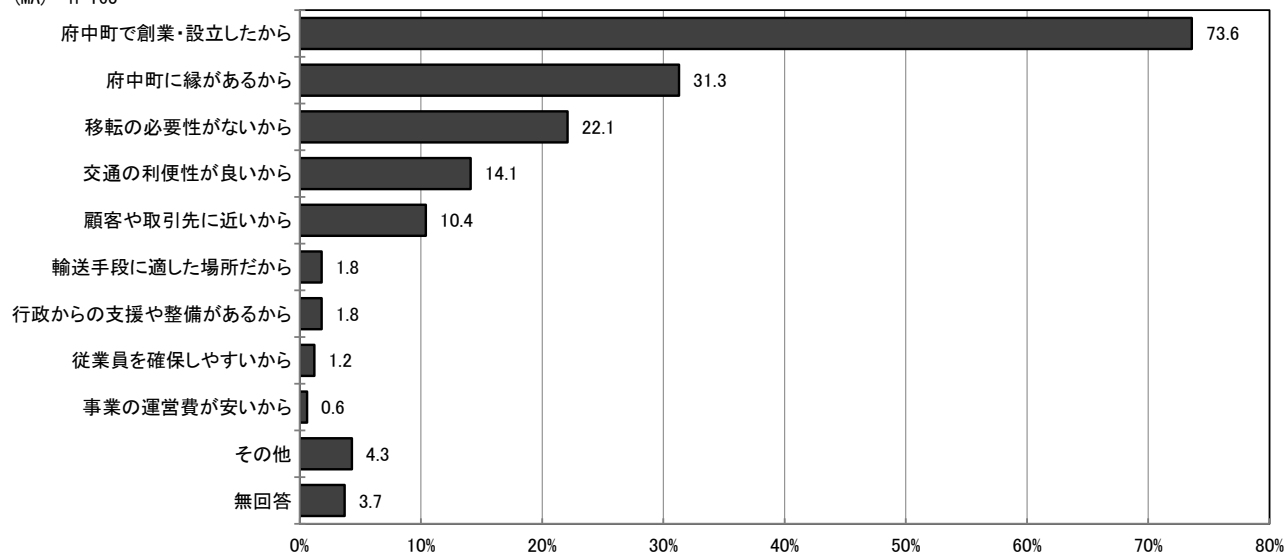
(SA) n=163



問4 府中町で事業活動を行っている理由は次のどれですか。(MA:3)

「府中町で創業・設立したから」が73.6%で突出しています。次いで「府中町に縁があるから」が31.3%、「移転の必要性がないから」が22.1%が続いています。

(MA) n=163

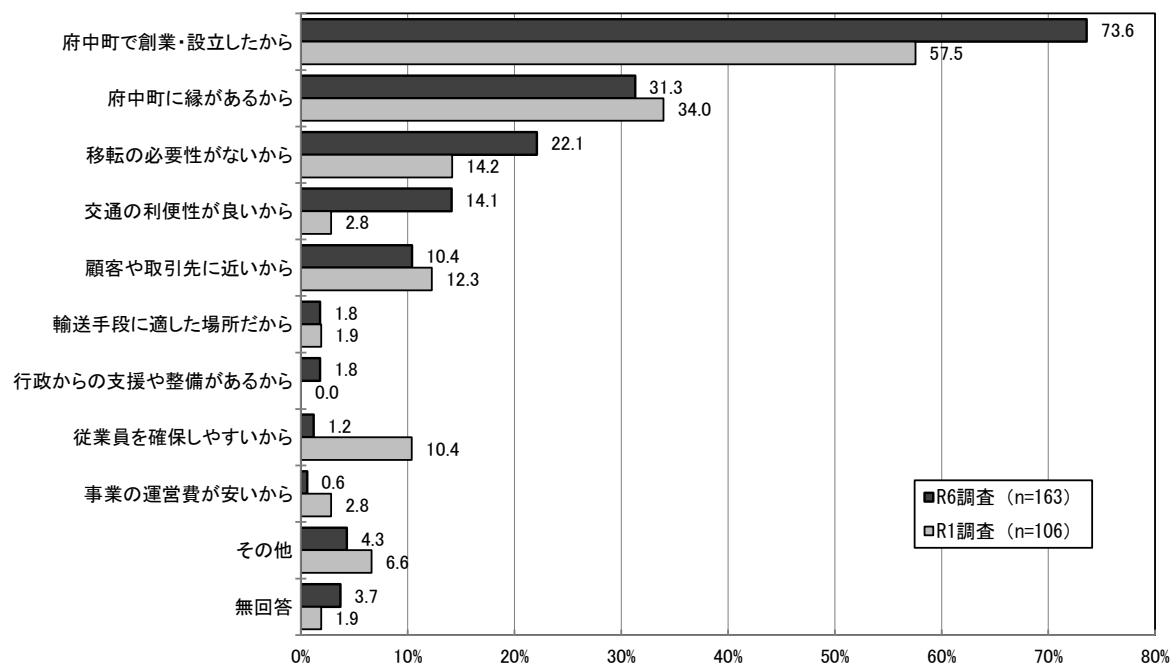


その他回答	
家があるから	東区より転居
自宅があるから	府中町に住んでいるから
賃貸がここしかなかった為	府中町に転居してきた為

【前回調査比較】

前回調査に比べて、「府中町で創業・設立したから」が増加しています。また、「交通の利便性が良いから」が増加し、「従業員を確保しやすいから」が減少しています。

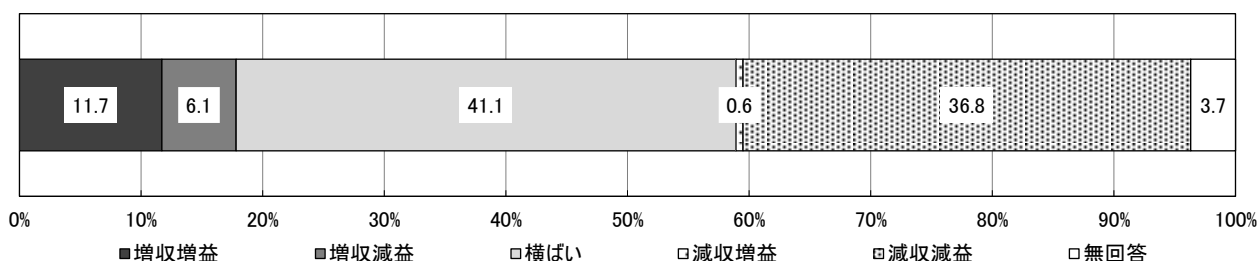
(MA)



問5 直近の3事業年度における経営状況をおしえてください。(SA)

「横ばい」が 41.1%で最も高くなっています。次いで「減収減益」が 36.8%、「増収増益」が 11.7%が続いています。

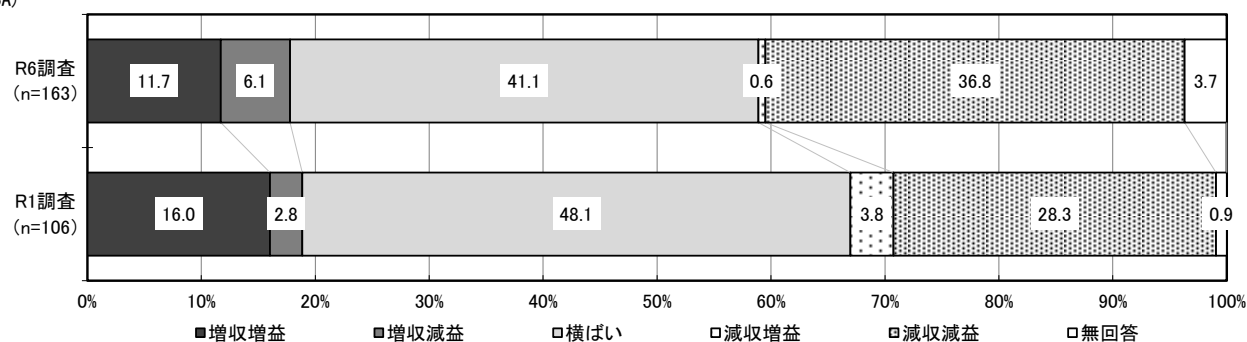
(SA) n=163



【前回調査比較】

前回調査に比べて、「減収減益」が増加しています。

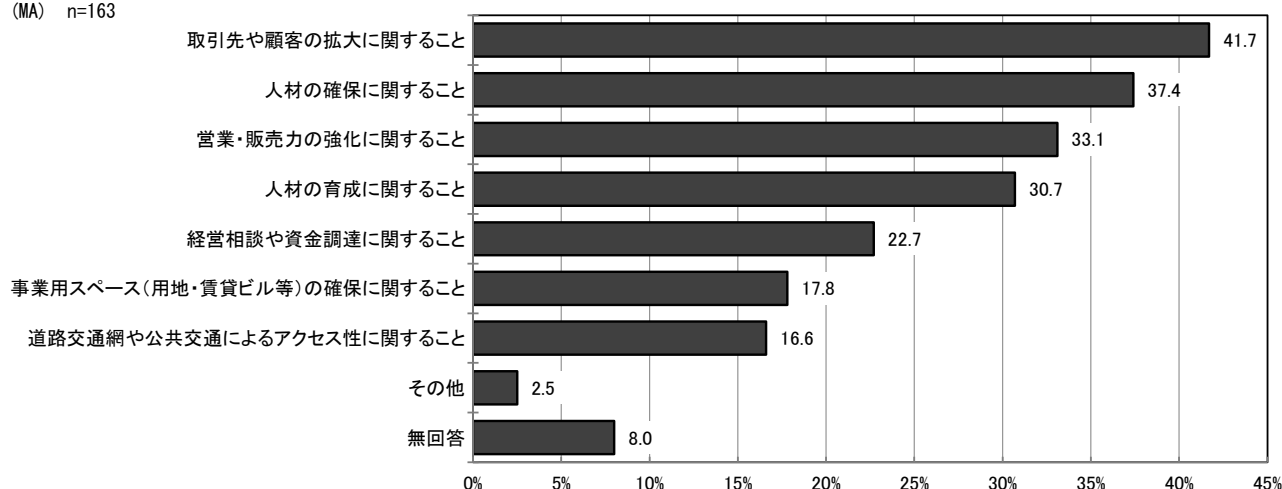
(SA)



問6 事業を行う上で特に重要であると思うことはなんですか。(MA:3)

「取引先や顧客の拡大に関すること」が 41.7%で最も高くなっています。次いで「人材の確保に関すること」が 37.4%、「営業・販売力の強化に関すること」が 33.1%が続いています。

(MA) n=163

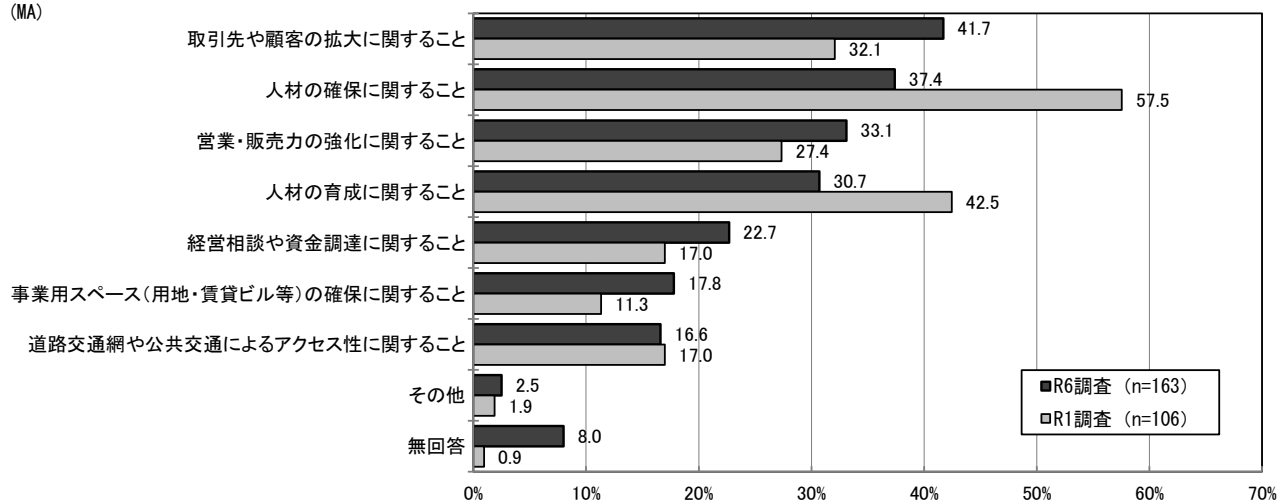


その他回答	
商品開発	事業はオンラインで実施
広報PR	

【前回調査比較】

前回調査に比べて、「人材の確保に関すること」「人材の育成に関すること」が減少し、「取引先や顧客の拡大に関すること」が増加しています。

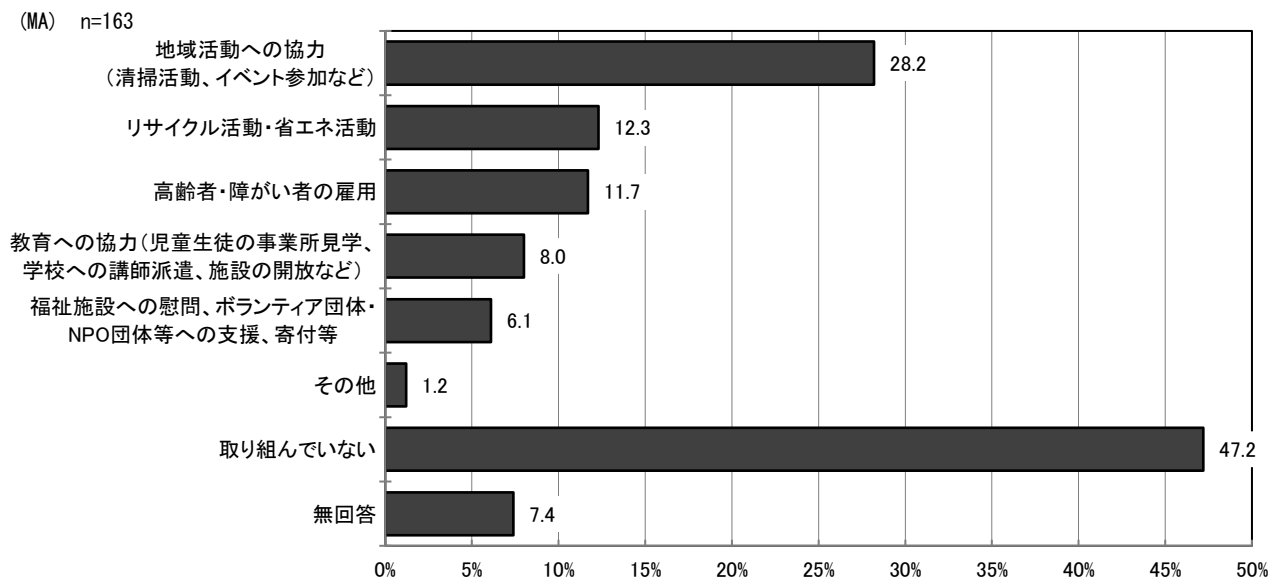
(MA)



2 協働によるまちづくりについておたずねします。

問7 現在、貴事業所では協働のまちづくりについて、どのような活動に取り組んでいますか。(MA:ALL)

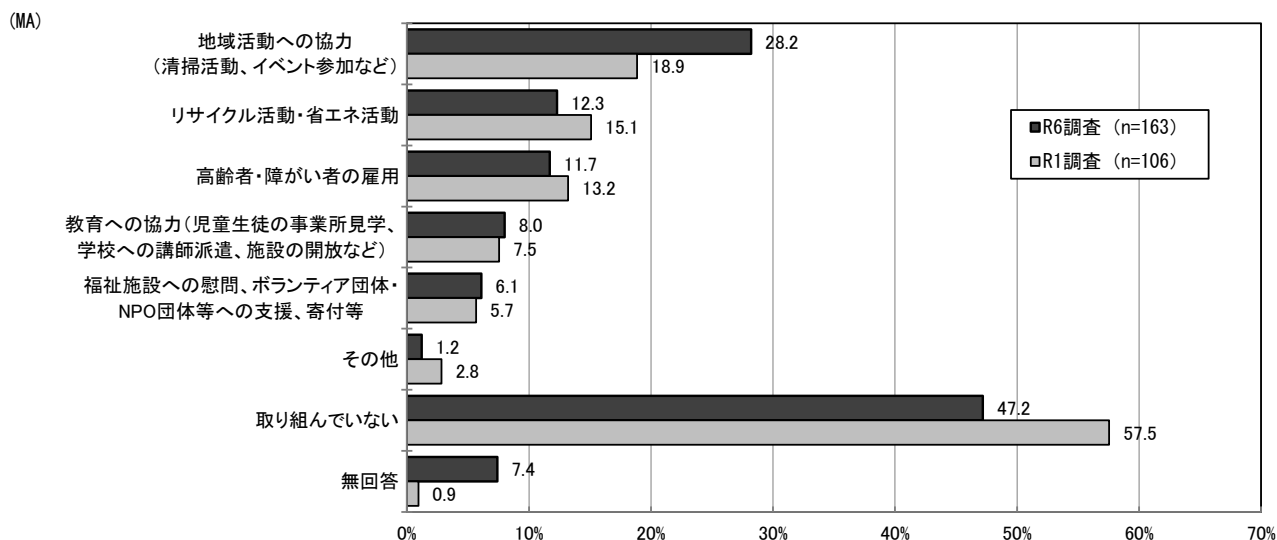
「取り組んでいない」が 47.2%で突出しています。次いで「地域活動への協力(清掃活動、イベント参加など)」が 28.2%、「リサイクル活動・省エネ活動」が 12.3%が続いています。



その他回答	
商工会への参加	検診事業など

【前回調査比較】

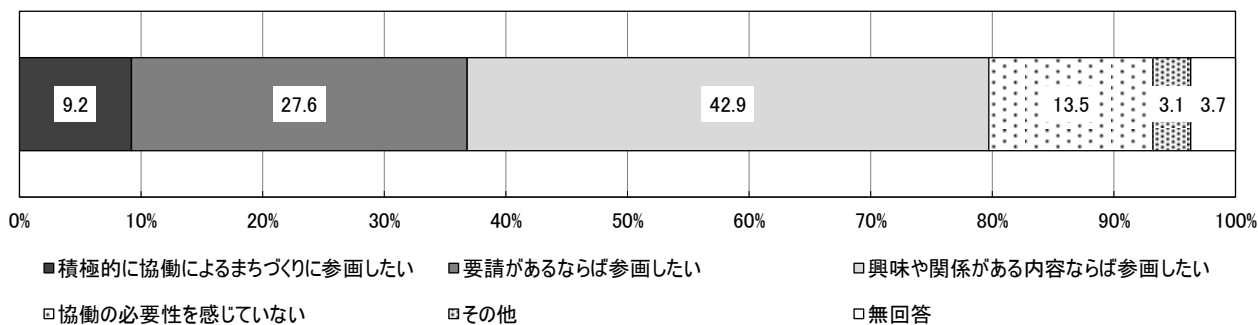
前回調査に比べて、「地域活動への協力」が増加しています。



問8 今後、協働のまちづくりへの関わり方について、貴事業所ではどのようにお考えですか。(SA)

「興味や関係がある内容ならば参画したい」が 42.9%で最も高くなっています。次いで「要請があるならば参画したい」が 27.6%、「協働の必要性を感じていない」が 13.5%で続いています。

(SA) n=163



その他回答

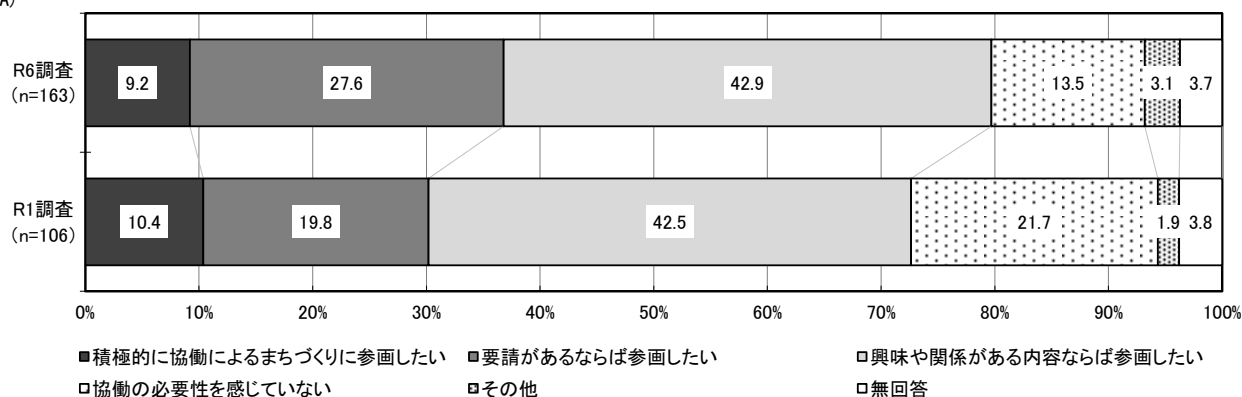
時間的に参加することが難しい

sns 等を使用した発信

【前回調査比較】

前回調査に比べて、「協働の必要性を感じていない」が減少し、「要請があるならば参画したい」が増加しています。

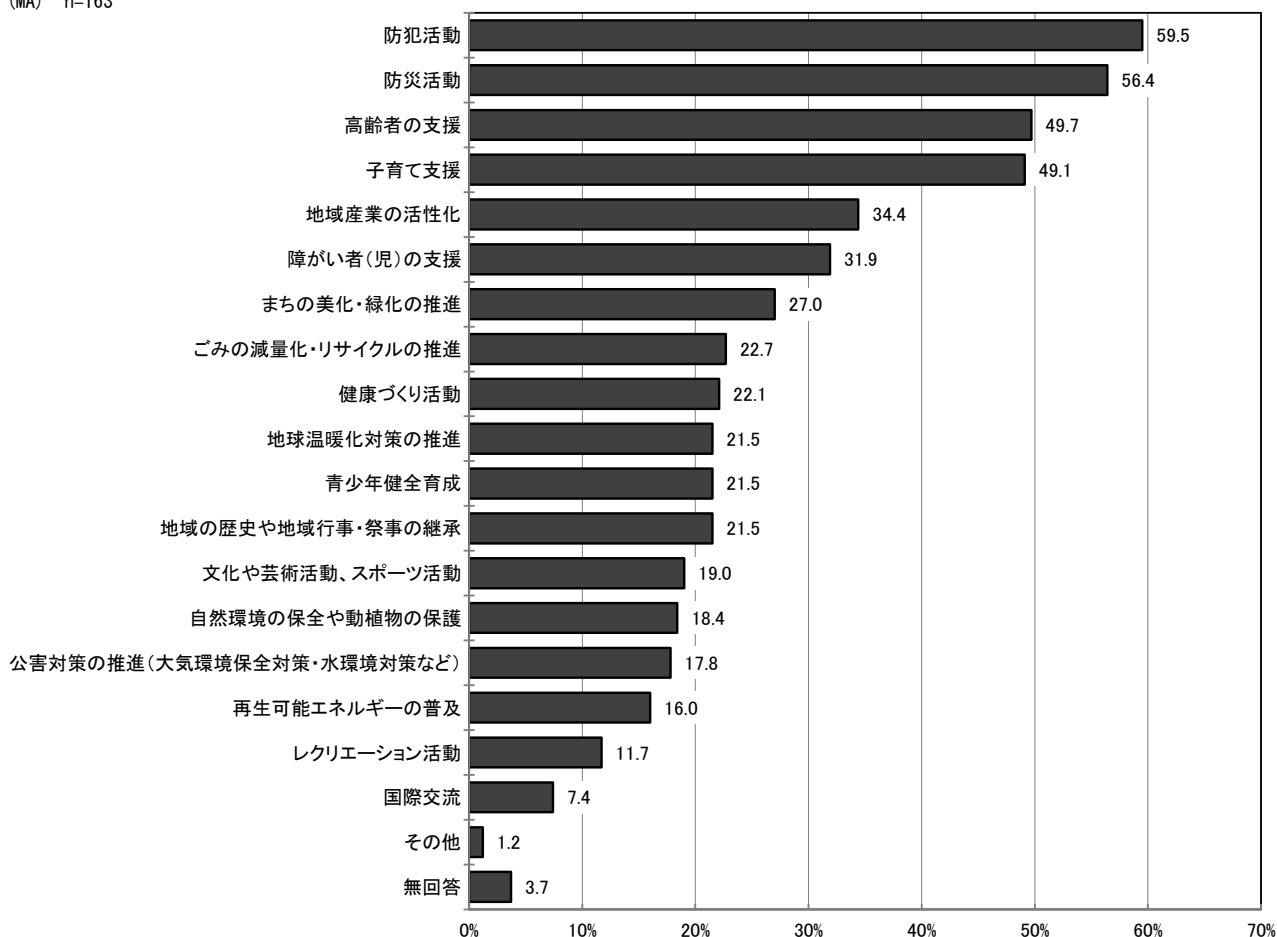
(SA)



問9 次の取組のうち、行政（府中町や国、県）と住民や民間企業等が連携して取り組むべきであると思うものはどれですか。（MA:ALL）

「防犯活動」が 59.5%で最も高くなっています。次いで「防災活動」が 56.4%、「高齢者の支援」が 49.7%で続いています。

(MA) n=163



その他回答

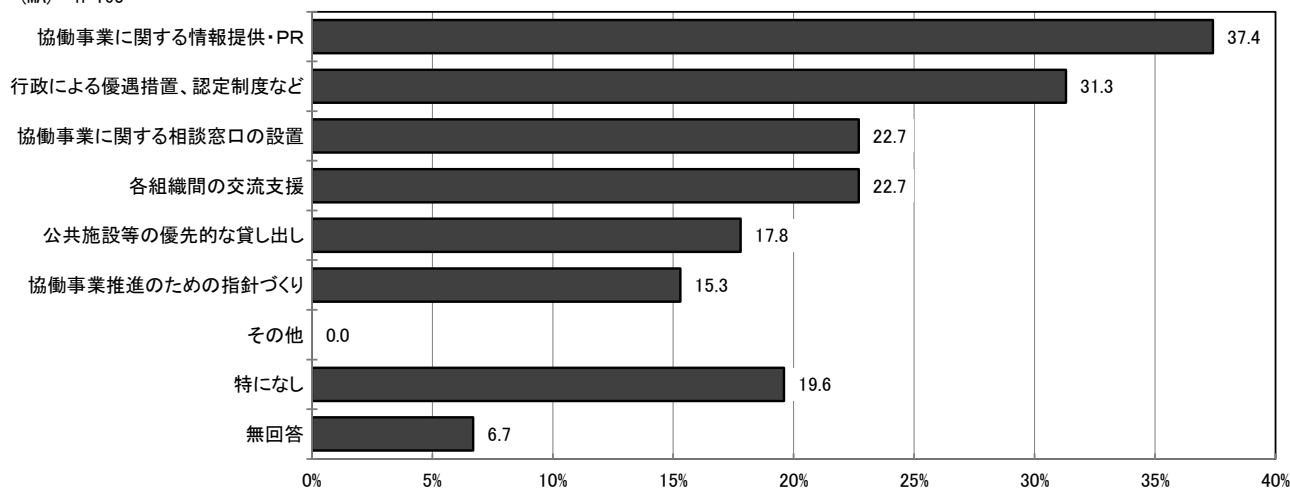
ほとんど全て

全て該当しますが、小規模の事業者には限界がある

問 10 貴事業所が協働によるまちづくりに参画する場合、どのような支援が必要であるとお考えですか。(MA:3)

「協働事業に関する情報提供・PR」が 37.4%で最も高くなっています。次いで「行政による優遇措置、認定制度など」が 31.3%、「協働事業に関する相談窓口の設置」「各組織間の交流支援」が 22.7%が続いています。

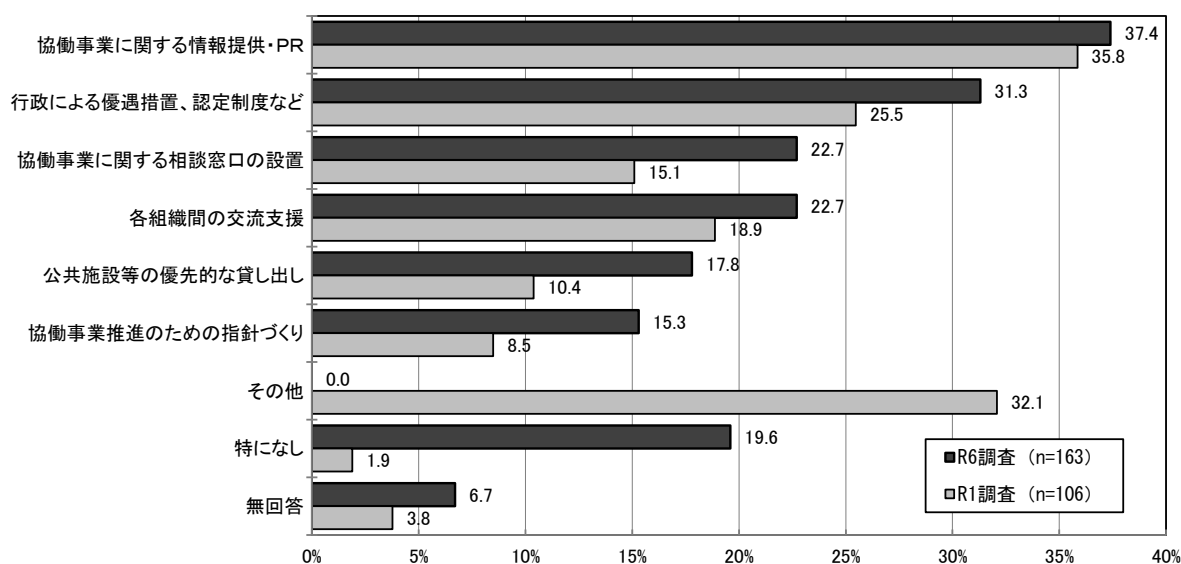
(MA) n=163



【前回調査比較】

前回調査に比べて、「特になし」が最も増加しています。必要な支援はすべての項目で増加しています。

(MA)

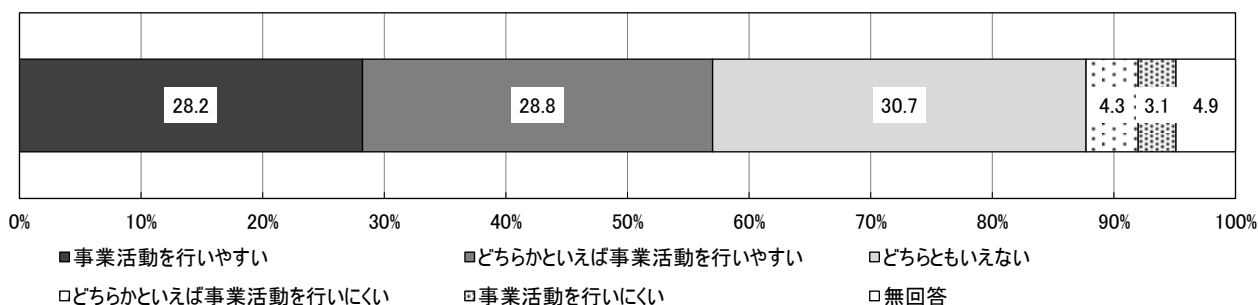


3 府中町における事業の展開についておたずねします。

問 11 貴事業所にとって、府中町は事業活動を行いやすいと感じますか。(SA)

「どちらともいえない」が 30.7%で最も高くなっています。次いで「どちらかといえば事業活動を行いやすい」が 28.8%、「事業活動を行いやすい」が 28.2%で続いています。事業活動を行いやすい層(「事業活動を行いやすい」+「どちらかといえば事業活動を行いやすい」)が半数以上となっています。

(SA) n=163



理由を記入してください

1.事業活動を行いやすい

①顧客、取引先が近い ②交通の利便性がよい。

行政などに相談しやすい

現代の日本の中においては地域に活気があると感じている

交通の便が良い。税金が安い

交通の利便性が良い

交通網、公共交通にアクセスしやすい。日常に生活しやすい(ショッピング、銀行など)

コンパクトで何でも揃っているから

事業をする為に移動が便利

人口のバランスがいい(世代のバランス)

人口密度が高いエリアであると同時に県内での「住みたい町ランキング NO.1」の評価は、府中町の若い世代の人口増加が見込めるエリア

人口も多く人も集まりやすいと思うから

地理的便利性。大型小売店や専門店がある

取引先が近くに多い

広島市中心部への車での移動が便利

なし

広島市では組織が大きく企画を考えてもなかなか伝わらない。また現在行っている事業はNPOではなくビジネスとして考えているので、NHK、中国新聞などには掲載されない

広島市内に近い。立地が良い

広島市に近い

他の地域では活動を考えてことがないので、府中町が良いと思う

利便性が良いから

慣れ親しんだ場所だから

慣れ親しんだ場所だから

客層が良い

近隣の町の人より自分の欲しい物を探し出したい人が多い

広島市に隣接しているから。

地元

都市高速インターが近いなど交通の便が良いから。

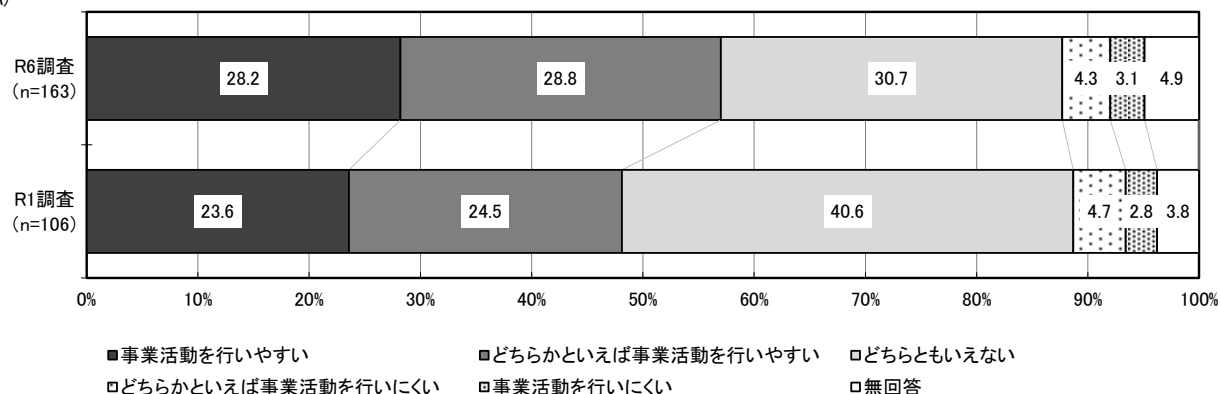
立地が良い

理由を記入してください
流通の便が良い。ある程度の人口があり、製品の需要が見込める。
2.どちらかといえば事業活動を行いやすい
事業者としては利便性のある地域なので活動しやすい。当社、製造業者としては工場など制約があり活動しにくい面もある
商工会があるので助かっている
相談施設がある
ターゲットとなる年齢層の割合が多い
知人が多い
中心部に近い場所にあり、交通の便が良い
都市高速が近く比較的コンパクトに必要な施設がまとまっているから。例えば役場、銀行など
取引先との利便性が良いこと
事業所ごみの処理がやりやすい
人柄はとても良いが、大型店優先の感が多少あると思う
広島市内に近いから
利便性が良いから
一体感
顧客が多い
交通の利便性が良く広島市に隣接している為
広島市内から近い
高齢者も多くその高齢者のサポートができるため
市街地に近い
町は素晴らしいがかつての賑わいはない。
本事業では子どもの人数に影響があるため
3.どちらともいえない
最近同業者が近隣に増えてきた
地価が高い為テナントなどの家賃が高過ぎる
同業の競合店の数が多い
広島市に隣接しており、事業活動の面では行いやすいが、時間帯にもよるが移動手段が車なので交通渋滞がネック
古い店舗が多く(賃貸)駐車場の確保が難しい
揚倉、安芸府中高校など、バス路線がほしい(小型バスでOK)。畑賀線だが
他を知らないから
よくわからない
基本的に事業活動を広域に展開していないので回答が難しいですが、都市部ほどアクセスが良くないと感じてはおります。ただ、とても良いエリアなので発展性は高いとも感じております。
市内が近いし、選べる店が多い
事業はオンラインで進めているので、場所は関係ない
町外、県外からのニーズはありますが、町内ではこれから必要とされる事業のように感じます。
比較対象がない
放課後等デイサービスは県が全てにおいて対応している。
町の関わりがほとんどない。
4.どちらかといえば事業活動を行いにくい
貸事務所が少ない
府中町の特産品が少ない。特産品開発の為の資源が少ない
公共交通機関の利便性が悪い
私はイベント関係の仕事をしていますが、府中町では残念ながら大きなイベントも少なく、また実施できる施設も少ないかと思います。
5.事業活動を行いにくい
大型店の安売りで価格の対応ができず、できることなら閉店したいと考えている

【前回調査比較】

前回調査に比べて、「事業活動を行いやすい」「どちらかといえば事業活動を行いやすい」が増加しています。

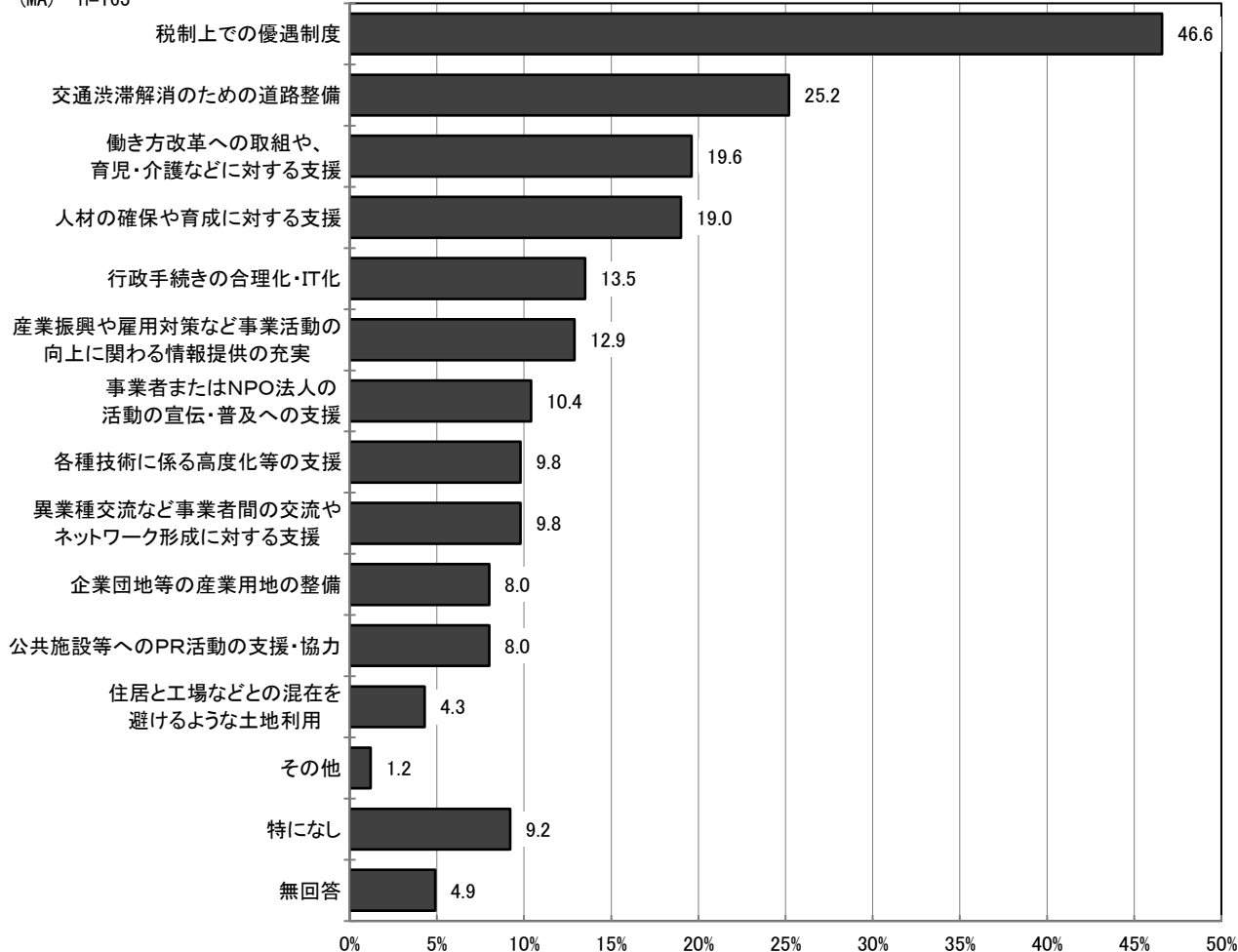
(SA)



問 12 貴事業所が府中町で事業活動を行うにあたり、どのような施策があるとよいと思いますか。(MA:3)

「税制上での優遇制度」が46.6%で突出しています。次いで「交通渋滞解消のための道路整備」が25.2%、「働き方改革への取組や、育児・介護などに対する支援」が19.6%で続いています。

(MA) n=163



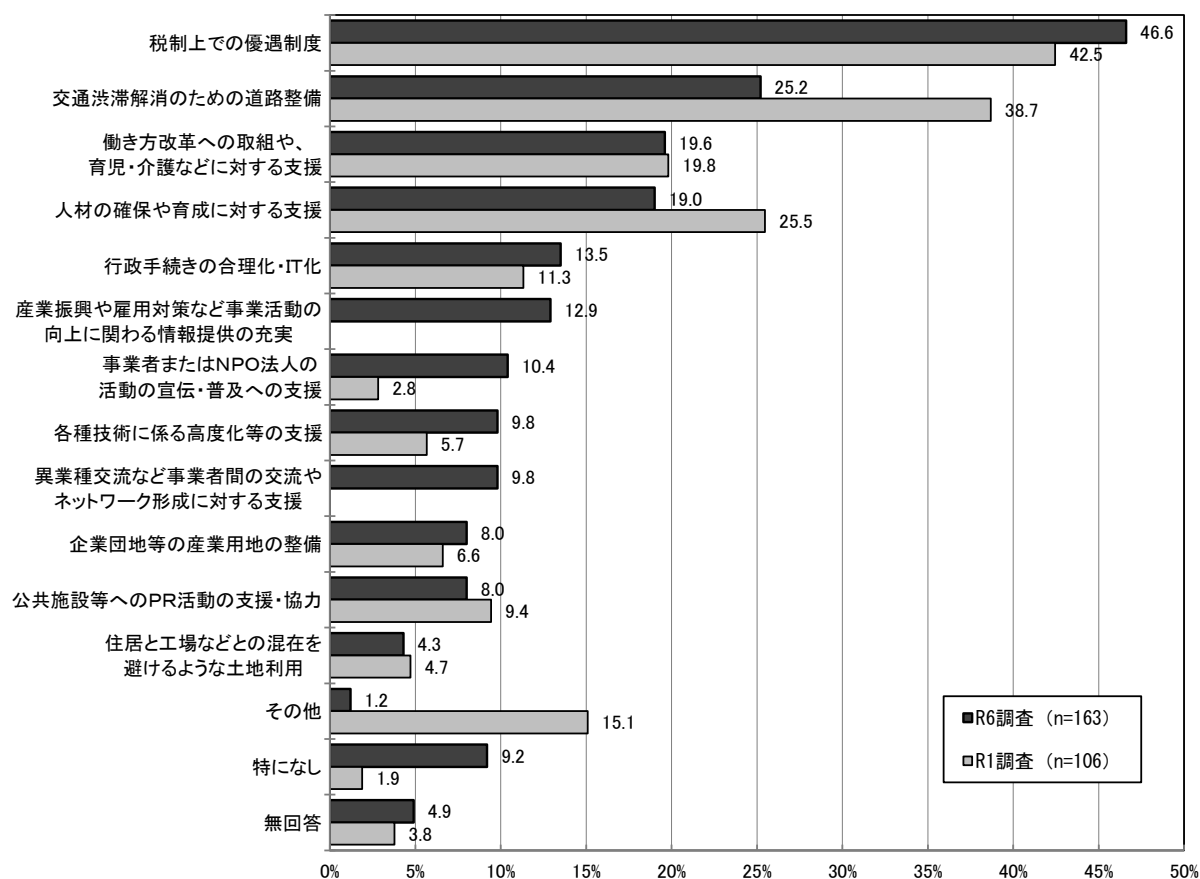
その他回答
各種補助金、助成金の充実
向洋駅にエレベーターかエスカレーターを付けていただきたい。お客様も高齢化して向洋駅を利用できなくなっている

【前回調査比較】

前回調査に比べて、「交通渋滞解消のための道路整備」が大きく減少しています。

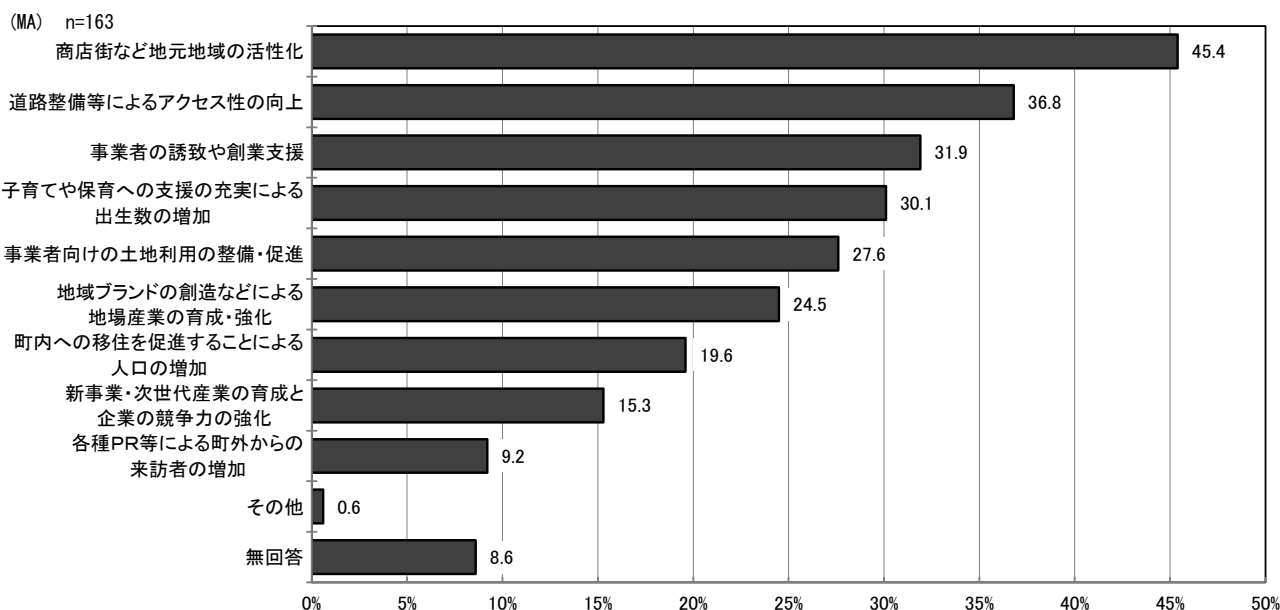
前回調査には「産業振興や雇用対策など事業活動の向上に関わる情報提供の充実」「異業種交流など事業者間の交流やネットワーク形成に対する支援」の選択肢はありませんでした。

(MA)



問 13 府中町全体の産業が振興するためには、どのような施策があるとよいと思いますか。
(MA:ALL)

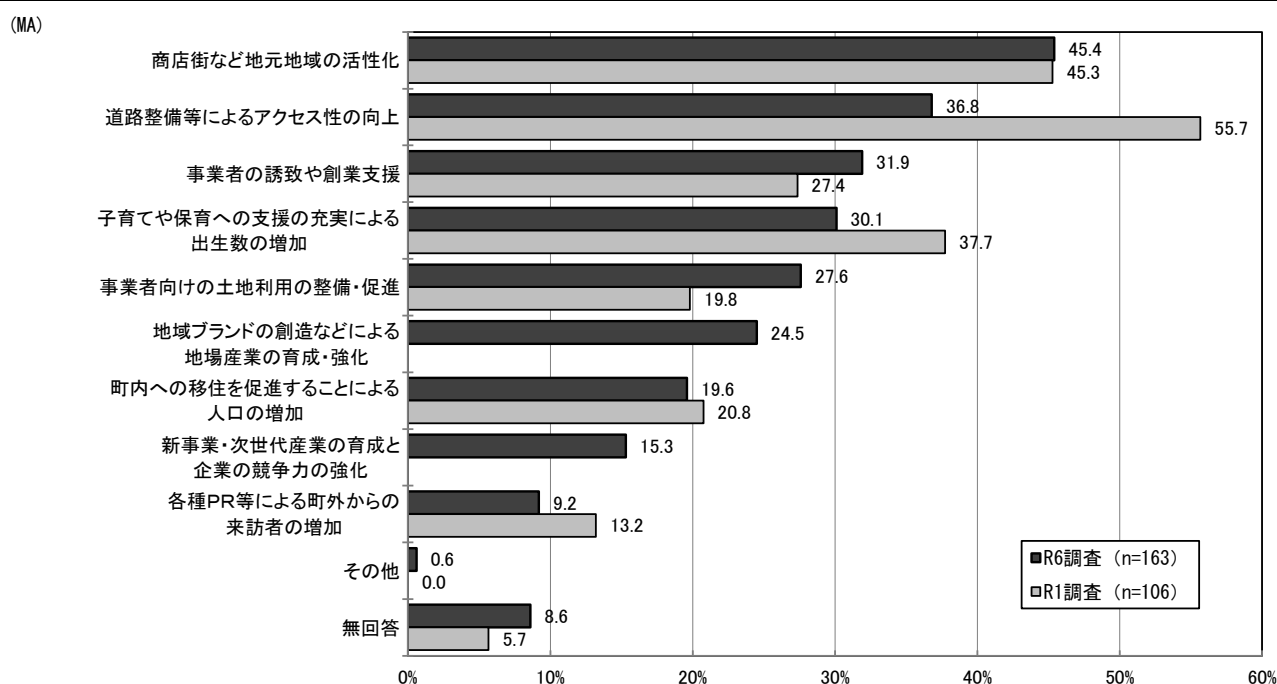
「商店街など地元地域の活性化」が 45.4%で最も高くなっています。次いで「道路整備等によるアクセス性の向上」が 36.8%、「事業者の誘致や創業支援」が 31.9%で続いています。



【前回調査比較】

前回調査に比べて、「道路整備等によるアクセス性の向上」が大きく減少しています。

前回調査には「地域ブランドの創造などによる地場産業の育成・強化」「新事業・次世代産業の育成と企業の競争力の強化」の選択肢はありませんでした。

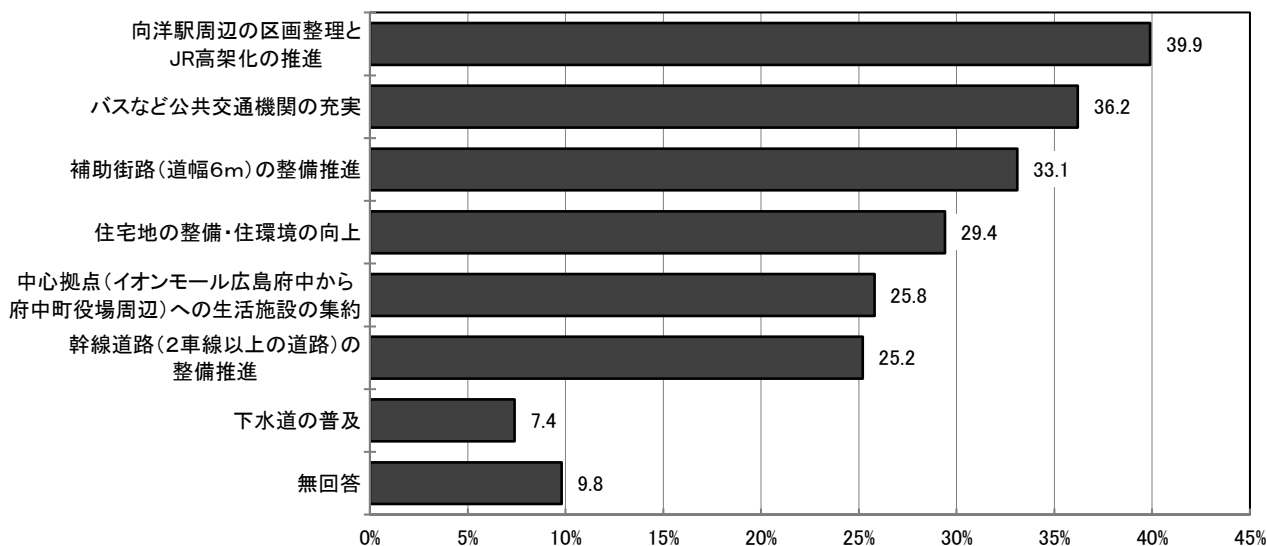


4 府中町全体の今後のまちづくりについておたずねします。

問 14① 府中町の「生活利便の分野」の中で、重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか。(MA:3)

「向洋駅周辺の区画整理と JR 高架化の推進」が 39.9%で最も高くなっています。次いで「バスなど公共交通機関の充実」が 36.2%、「補助街路(道幅6m)の整備推進」が 33.1%で続いています。

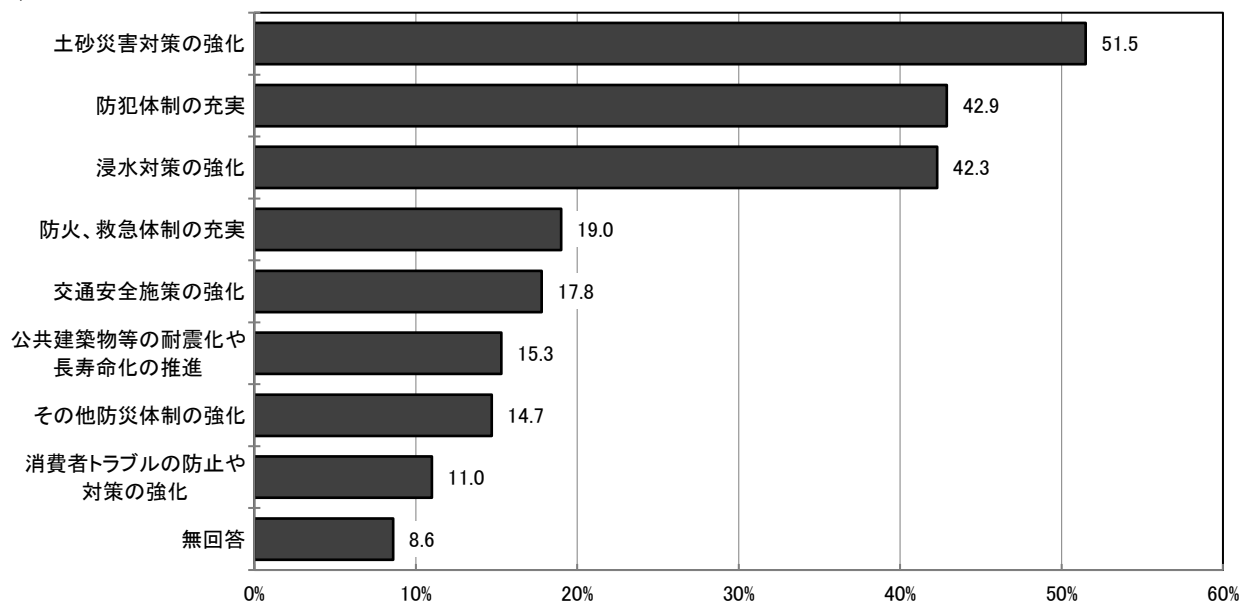
(MA) n=163



問 14② 府中町の「安全・安心の分野」の中で、重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか。(MA:3)

「土砂災害対策の強化」が 51.5%で最も高くなっています。次いで「防犯体制の充実」が 42.9%、「浸水対策の強化」が 42.3%で続いています。

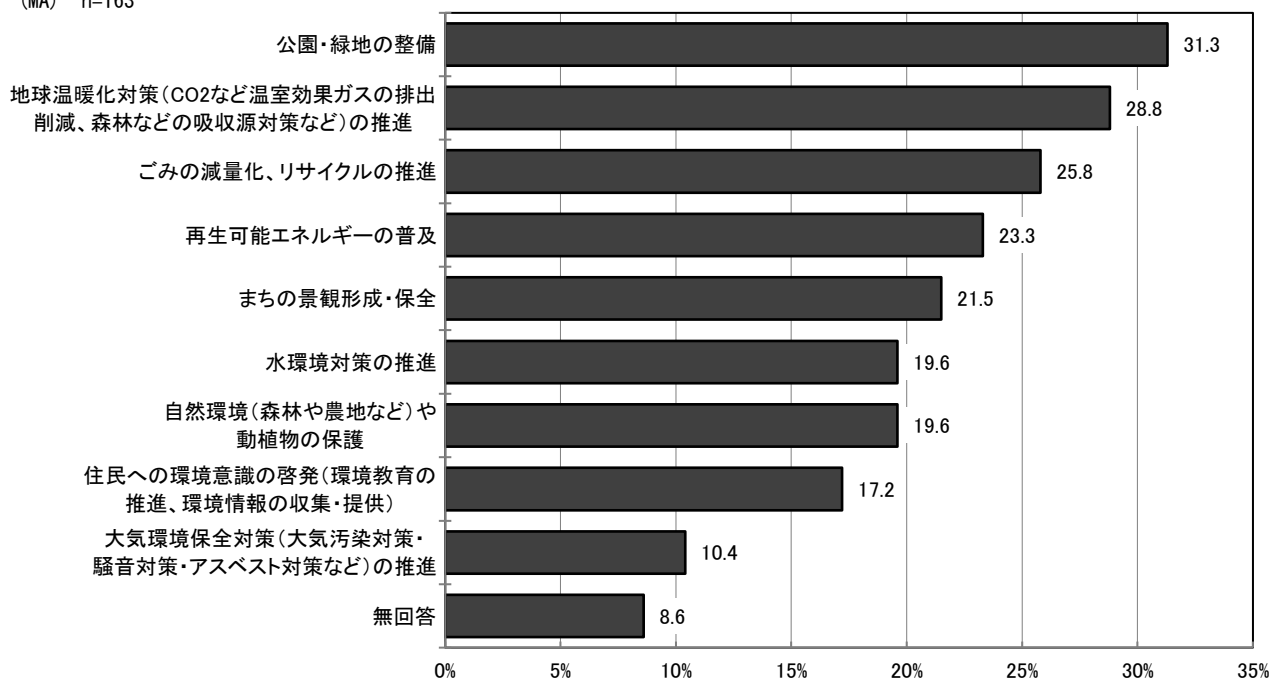
(MA) n=163



問 14③ 府中町の「環境保全の分野」の中で、重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか。(MA:3)

「公園・緑地の整備」が 31.3%で最も高くなっています。次いで「地球温暖化対策(CO2 など温室効果ガスの排出削減、森林などの吸収源対策など)の推進」が 28.8%、「ごみの減量化、リサイクルの推進」が 25.8%で続いています。

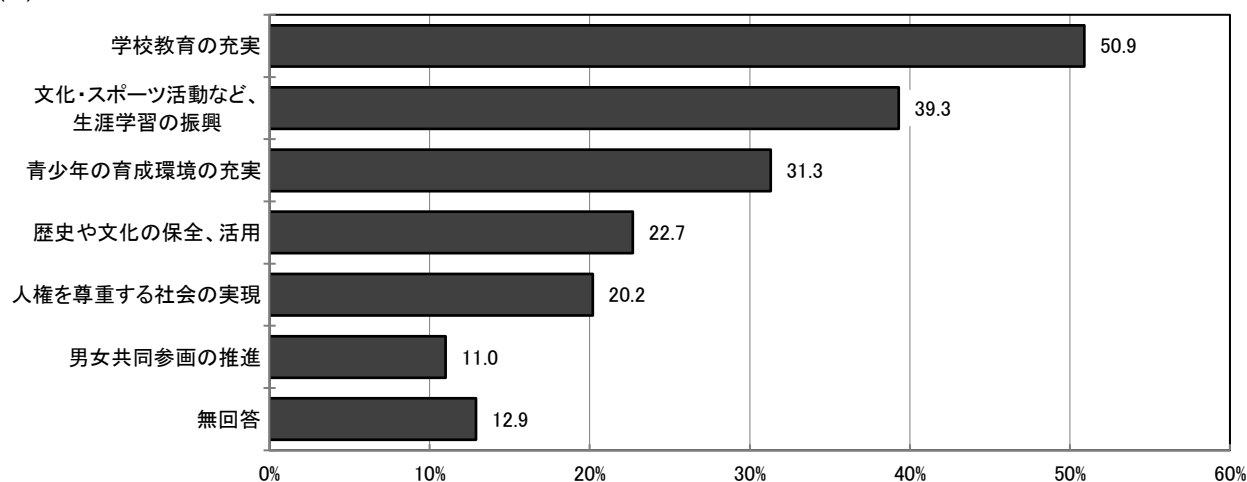
(MA) n=163



問 14④ 府中町の「教育の分野」の中で、重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか。(MA:3)

「学校教育の充実」が 50.9%で最も高くなっています。次いで「文化・スポーツ活動など、生涯学習の振興」が 39.3%、「青少年の育成環境の充実」が 31.3%で続いています。

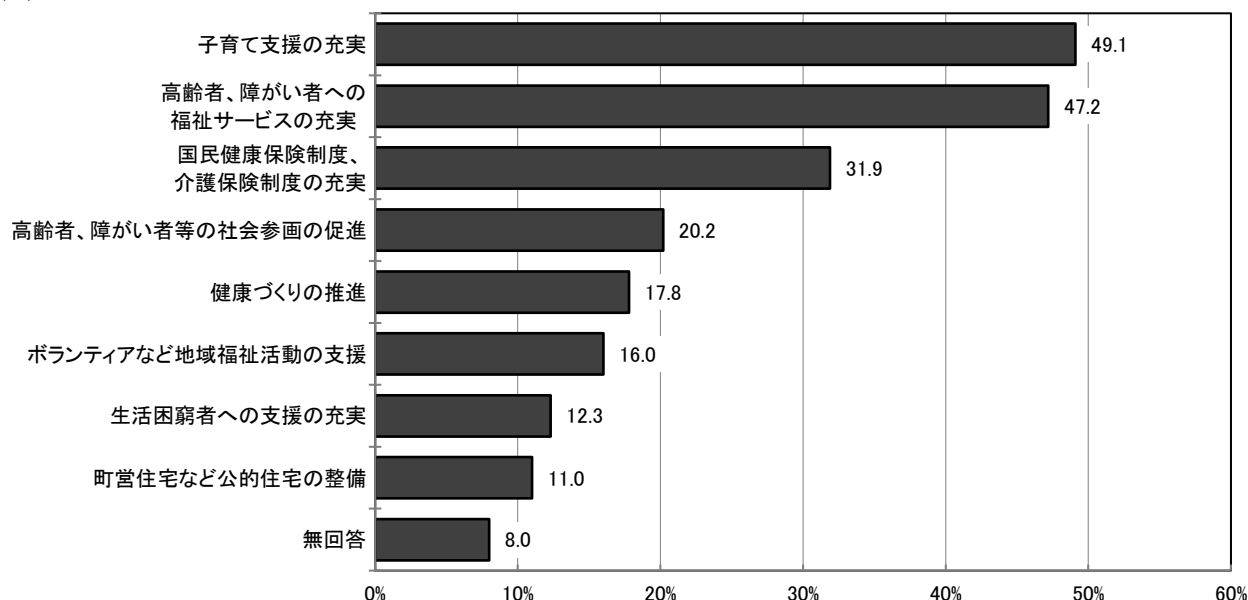
(MA) n=163



問 14⑤ 府中町の「保健・福祉の分野」の中で、重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか。(MA:3)

「子育て支援の充実」が 49.1%で最も高くなっています。次いで「高齢者、障がい者への福祉サービスの充実」が 47.2%、「国民健康保険制度、介護保険制度の充実」が 31.9%が続いています。

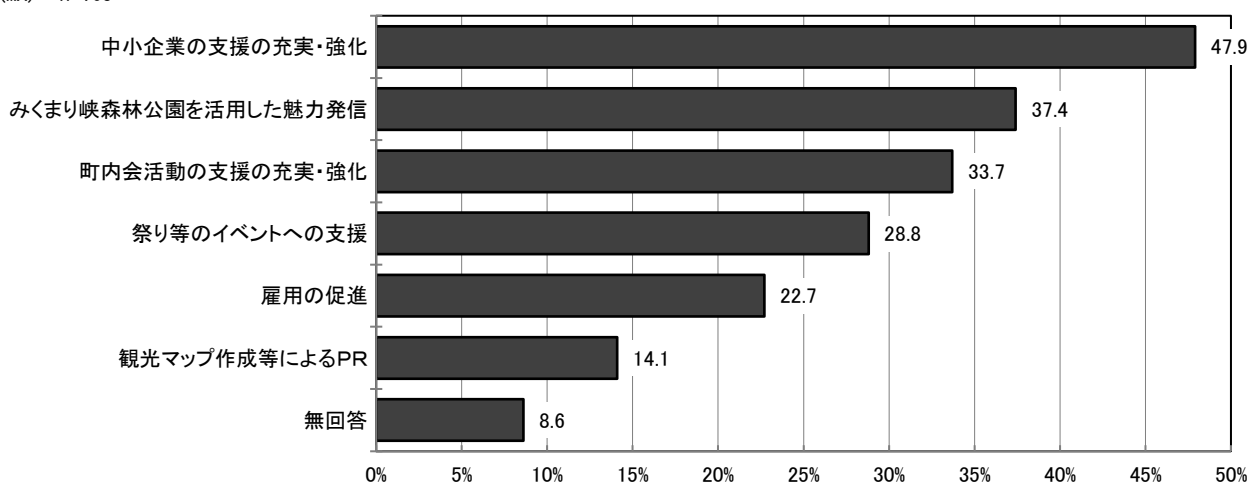
(MA) n=163



問 14⑥ 府中町の「自治振興の分野」の中で、重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか。(MA:3)

「中小企業の支援の充実・強化」が 47.9%で最も高くなっています。次いで「みくまり峡森林公園を活用した魅力発信」が 37.4%、「町内会活動の支援の充実・強化」が 33.7%が続いています。

(MA) n=163



問 14⑦ 府中町の「町政運営・サービス等の分野」の中で、重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか。(MA:3)

「財政の健全化」が42.9%で最も高くなっています。次いで「長期的な視点でのまちづくりの推進」が30.1%、「ふちゅうブランド」の向上」が26.4%が続いています。

(MA) n=163

